



夕暮れ時・夜間の交通事故防止!!



秋から冬への気温変化とともに、日の入り時刻が急激に早くなります。秋の夕暮れ時は交通事故が増加する傾向にあります。ドライバーも歩行者も交通ルールを守り、暗くて見えにくい夕暮れ時などは「意識して見る」「見てもらう」工夫をして、自分の存在を周囲に早く知らせ、交通事故の危険を防ぎましょう。

秋冬の夕暮れ時に交通事故が多い理由

日没時間が急激に早くなる

周囲が暗くなるまでの時間が短い

歩行者や自転車が見えにくくなる



「まだ見える」という油断が危険!! ～見えているようで、見えていない～

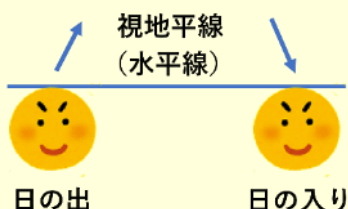
秋は夏に比べて日が短くなる速度が約 3 倍といわれています。人の目が暗さに慣れるまでには 30～40 分程度かかるため、薄暮の時間帯は思っているほど前方が見えていません。帰宅時間帯の交通量増加も重なり、交通事故の危険が高まります。



薄暮の時間っていつのこと?

豆知識

薄暮の時間とは、日の入り前後 1 時間の夕暮れ時を指します。日の入りとは、太陽の上辺が視地平線又は水平線に一致する時刻と定義されています。



★ライト点灯の目安時間

日没のおおむね 30 分前を目安に点灯しましょう。



10 月中…16 時 50 分
11 月中…16 時 20 分
12 月中…16 時 10 分



あくまでも目安ですので、天候等に応じて、早めの点灯を心掛けましょう。

お互いに自分の存在をアピールしましょう!!



ドライバーの皆さん



歩行者・自転車利用者の皆さん

★早めのライト点灯

★ハイビームの適切な使用



★明るい色の衣服を着用

★反射材用品やライトの活用





反射材着用で“ここにいるよ”を伝えましょう!!

歩行者や自転車利用者が薄暮や夜間に交通事故に遭わないようにするためには、反射材用品やLEDライトの活用が効果的です。反射材で防げる事故があります。反射材を活用して、相手に自分の存在を知らせましょう。



反射材とは？

ここでいう反射材とは、再帰性反射をする素材のことです。光が、どの方向から当たっても光源に向かって反射するように工夫されています。車のヘッドライトが当たると、ドライバーから非常によく光って見えます。

～ 下向きライトで歩行者が見える距離 ～



時速60キロの車は、停止まで約44mが必要です。

～ライトの照射距離～



外出時に反射材を活用するためのポイント！

つけるのが面倒

つけたままでOK！

「反射材付き」を活用！

よく使うカバンや自転車に付けておきましょう。



つい、忘れちゃう

玄関先など

決めた場所に置きましょう！



外出時の必要なものと一緒に置いておきましょう。

恥ずかしいな...

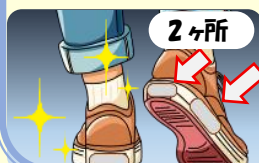
お気に入りの
を見つけよう！



学校や遊びに行くときにも使えるものを探してみましょう。

～効果的な反射材の着用方法～

- ・手首・足首など動きが大きい場所につける
- ・胴体より上は反射面積が大きいものを選ぶ
- ・運転者から見やすい位置につける。



靴用反射ステッカーは、かかとの中心と少し外側にも貼ると、左右・後方から光るためおすすめです。

三重県交通安全研修センター

セーフティプラザみえ

◇ 開館時間 午前9：30～午後4：30 ☆ご利用には予約が必要です☆

◇ 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）

< 所在地 > 津市垂水 2566 三重県運転免許センター4階

< TEL > 059-224-7721 < FAX > 059-224-7641

ホームページ <https://www.safetyplaza-mie.com>

